



ぽっかぽか ぞう組

11月



先月は「運動会」「遠足」と行事が盛りだくさん。保護者の皆様、たくさんのご協力ありがとうございました。「遠足で楽しかったことは？」と聞いたら「お弁当」がやっぱり一番！「お友達とみんなで歩いたのが楽しかった！」と仲間との時間を大切に思う子もいました。運動会はいろんなドラマがあって語りつくせません！ひとりひとりの意欲的な姿に成長を感じる一大行事でした！

寒い季節がだんだん近づき、体調を崩しやすい時期ですので健康に気を付けて引き続き元気なぞう組のみんなと楽しく過ごしていきたいと思います。今回はアートの様子をお伝えします♪



講師の田中かをる先生を招いて10月から年少のアートが始まりました。絵画指導では、絵の描き方や道具の使い方、色を楽しむなどの画用紙に表現します。大きな画用紙に絵を描く経験を通して、子ども達に「描く」ことの楽しさ、色をつけることの面白さを教えてくれます。表現することの楽しさをはぐくむアート活動。第一回目のテーマは「しゃぼんだま」でした。緊張気味の子どもたちでしたが、先生が「失敗しても大丈夫」とお話ししてくれたこともあり、初めてのアートでものびのびと取り組んでいました♪

- ・活動は、①話を聞く ②先生の見本を見る ③自分で描いてみるという流れでやっています。また、クレヨンや絵の具を使う時には「赤色を出してみよう」と自分達で探してみたり、「赤色の食べ物なにがあるかな？」「赤いクレヨンで○や△や□を描いてみよう」など色や形について認識する力も養います。
- ・絵の具を使う時には「三点持ちで筆を持ってみよう」「描くときは筆を立てて優しく描いてみよう」など道具を正しく使うことを学ぶ場でもあります。これから様々な画材に触れて、画用紙に描くこと・表現することを楽しんでほしいなと思います。



アートはもちろん、遠足や運動会などの活動を通して、「自分なりに表現することの楽しさ」や「子ども同士で話し合い協力することの大切さ」など、さまざまな体験をしている子どもたち。表現・発表するのが苦手な子もいますが、どうすれば子どもたちが自信をもって意欲的に自分を表現できるようになるか…担任の私たちと保護者の方とも相談しながら、ひとりひとりにあった援助をしていきたいと思います。小さな成功体験の積み重ねをすることで、今までできなかったことへの挑戦する気持ちを育てたいと考えています。これからも成長も楽しみです♪